

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成25年2月14日(2013.2.14)

【公開番号】特開2012-227973(P2012-227973A)

【公開日】平成24年11月15日(2012.11.15)

【年通号数】公開・登録公報2012-048

【出願番号】特願2012-182451(P2012-182451)

【国際特許分類】

H 04 N 7/32 (2006.01)

【F I】

H 04 N 7/137 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年12月26日(2012.12.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0132

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0133

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0134

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0135

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0136

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0137

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

画像情報が符号化された符号化データを復号する復号装置において、復号の対象となる対象マクロブロックがフィールドモードで符号化されており、前記対象マクロブロックに隣接する第1の隣接マクロブロックがフレームモードで符号化され、第2の隣接マクロブロックがフレームモードで符号化されている場合、前記第1の隣接マクロブロックの動きベクトル情報と、前記第2の隣接マクロブロックの動きベクトル情報とを前記対象マクロブロックのフィールドモードにあわせるように換算して、前記対象マクロブロックの動きベクトル情報に対応するコンテキストモデルを算出するコンテキストモデル手段と、

前記コンテキストモデル手段により算出された前記コンテキストモデルを用いて、前記符号化データにコンテキスト適応算術復号を行うコンテキスト適応算術復号手段とを備える復号装置。

【請求項 2】

画像情報が符号化された符号化データを復号する復号装置の復号方法であって、前記復号装置が、

復号の対象となる対象マクロブロックがフィールドモードで符号化されており、前記対象マクロブロックに隣接する第1の隣接マクロブロックがフレームモードで符号化され、第2の隣接マクロブロックがフレームモードで符号化されている場合、前記第1の隣接マクロブロックの動きベクトル情報と、前記第2の隣接マクロブロックの動きベクトル情報とを前記対象マクロブロックのフィールドモードにあわせるように換算して、前記対象マクロブロックの動きベクトル情報に対応するコンテキストモデルを算出し、

算出された前記コンテキストモデルを用いて、前記符号化データにコンテキスト適応算術復号を行う

復号方法。

【請求項 3】

復号の対象となる対象マクロブロックがフィールドモードで符号化されており、前記対象マクロブロックに隣接する第1の隣接マクロブロックがフレームモードで符号化され、第2の隣接マクロブロックがフレームモードで符号化されている場合、前記第1の隣接マクロブロックの動きベクトル情報と、前記第2の隣接マクロブロックの動きベクトル情報とを前記対象マクロブロックのフィールドモードにあわせるように換算して、前記対象マクロブロックの動きベクトル情報に対応するコンテキストモデルを算出するコンテキストモデル手段と、

前記コンテキストモデル手段により算出された前記コンテキストモデルを用いて、前記符号化データにコンテキスト適応算術復号を行うコンテキスト適応算術復号手段と

によって得られる復号画像情報。